

○岡山支援のボランティア（地域からの支援）状況

本校では、学校行事や授業の支援等において地域の教育資源としてボランティアを毎年募集し、協力を得ています。ボランティアについては、ホームページを見たり、すでに登録されている方から話を聞いたりして登録されたりする方が多いですが、教育実習や介護等体験後に本校の教育の魅力に気づき登録される方もいます。大半が大学生の方ですが、社会人の方や交流校の中学生もあり、10年以上継続して授業支援をしてくださっている方もいます。児童生徒が学校外の人と関わることができ、ボランティアの方には本校の教育を知っていただくための良い機会となっているので、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



今年度のボランティア状況（11月末時点）

学校行事	34名	{ 体育大会11名 寄宿舍祭19名 文化祭4名
授業支援	7名	
	（延べ51回）	



ありがとう
ございました!!

11/10（土）に開催した文化祭には4名の方にボランティアとして参加していただきました。感想の一部を紹介します。



普段接している児童生徒たちの違った一面を見ることができて、とても貴重な体験でした。一人ひとりがとても頑張っていてとても良い文化祭になったと思います。

喫茶店では普段会わないクラスの子どもたちや、先生と話すことができ、金銭授受の練習の手伝いなどできて楽しかったです。

おこづかいの中で買い物をするというのを楽しんでいる子どもたちの様子が、印象深かったです。

工房の品物は子どもたちの好むものを工夫して作られており、価格設定や品物追加のタイミングも子どもたちが全員楽しく買い物できるようになっており、とてもよかったです。

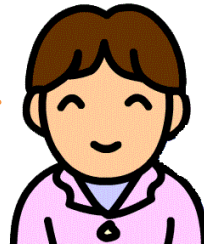


○障害者週間

平成 16 年に「障害者基本法」の一部が改正され、「障害を理由とする差別禁止」の理念が明示されるとともに、「国際障害者デー」の 12 月 3 日から、「障害者の日」の 12 月 9 日までの 1 週間が「障害者週間」に設定されました。

目的

全ての国民が障害の有無にかかわらず地域で共生する社会の実現に向けて



国民の間に広く、障害のある人の福祉について関心と理解を深める

障害のある人が社会、経済、文化のあらゆる分野の活動に参加する意欲を高める

障害者週間に関連した行事が、岡山県内の様々なところでも行われました。本校でも学校について広く知ってもらい、自立支援協議会との連携を図っていくため、地域の行事に参加し、学校紹介展示や学校案内の希望者への配布を行っています。

たかはし福祉フォーラムの展示の様子

西日本豪雨災害のため例年の 9 月から 12 月に変更して実施されました。広いスペースをいただき、パネルで本校の教育の様子を展示しました。今後も各地域で、情報発信を進めていきたいと考えています。



○支援機器の紹介

支援機器は様々なものがありますが、利用者に合うものを選び、それをうまくセッティングして使うことで、生活が楽になることを目的としています。その中でも、特に注目されている視線入力装置について紹介します。

パソコンに視線を感知する装置を取り付け、位置調節をすると使用できます。様々なソフトが用意されていて、少し視線を向けただけでも作動するものから、じっと注視すると作動するものまで、段階を追って練習できるようになっています。現在、校内に 1 台導入し、児童生徒の希望者に体験してもらっていて、自立活動の取り組みとして利用者が増えてきているところです。

